

大災害発生！家が無事でもライフラインが断たれたら・・・
この度の大地震でも近代ホームの家は被害なし！
落ち着いて復旧を待ちましょう。

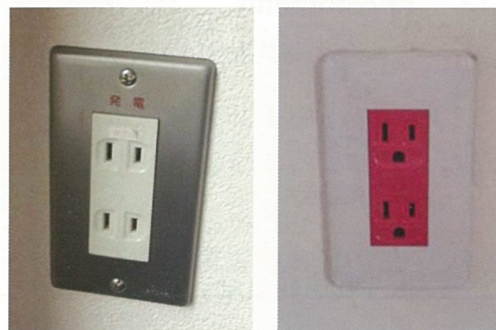
【停電時の各システムの使用方法】

●太陽光発電システム

停電時でも、太陽電池モジュールが発電できる状態であれば、パワーコンディショナーの「**自立運転**」モードに切り替えることで、システム専用コンセントを使ってAC100V(最大1.5KWまで)が利用できます。

停電時パワーコンディショナーコントローラーの「**連系／自立**」スイッチを押すことにより切り替え出来ます。モニターに「自立」と表示されたのをご確認ください。

※自立運転になると専用コンセントでのみ電気が供給され、一般のコンセントは使用できません。
「自立専用コンセント」は写真下のように「発電」の表記があるものか、赤色のものです。設置場所は事前にご確認ください。



屋外にあるパワーコンディショナー本体の操作は不要です。→



- 自立運転時に電力を使用出来るのは、太陽電池が発電している**昼間だけです**。
- 自立運転時は日の入りとともに自動的に停止しますが、翌朝日の出を迎えても自動的に運転を開始しませんので、手動で自立運転を開始してください。
- 自立運転では自立運転コンセントのみに発電電力が供給されます。停電時はその他のコンセントは使用できません。
- 自立運転コンセントで使用できる最大電力は設置方位、天候やパワーコンディショナーにより異なります。
- コントローラー及びコンセントは仕様により写真とは異なる場合があります。各仕様により操作方法が若干異なりますので、取扱説明書をご確認ください。

詳しくはSHARPホームページ <http://www.sharp.co.jp/sunvista/jiritsu/> を参照ください。

●エコキュート

停電の場合給湯は停止します。電気供給再開後は自動的に給湯を再開します。
停電が12時間以上続いた場合、コントローラーの時間再設定が必要となります。

●癒しほっとパネル(床暖房)

停電の場合暖房機能は停止します。停電によりタイマー設定がリセットされますので電気供給再開後に再設定をお願いします。
ガス利用の皆様も、停電によりコントローラーが停止し床暖房も停止します。電気供給再開後にコントローラーの再設定をお願いします。

●24時間換気システム

停電により換気システムは停止しますが電気供給再開後は自動で運転を再開します。

- ★換気システムが止まっても、酸欠になったりする心配はありません。
停電が長く続くような場合は、窓を開けて換気していただいで結構です。
- ★停電中のカセットコンロのご使用は可能です。(通常はあまりおすすめしません。)
石油ストーブに関しては一酸化炭素中毒の危険がありますのでお避け下さい。

福島原発の事故に伴いまして非常時の換気システム停止方法についてお問い合わせをいただきました。

24時間換気システムは**建築基準法**で定められているシステムです。
以下のデメリットも考慮されたうえ、**判断は自己責任**において行っていただきますようご了承願います。

《24時間換気システムを停止させた場合のデメリット》

- ① 室内結露や臭気の発生
- ② 室内CO2濃度の上昇
- ③ 危険回避後の復帰忘れ

以上をご承知の上、24時間換気システムを停止する方法は以下の通りです。

- ① 屋内給気口を閉じる
- ② 24時間換気用換気扇スイッチを切る
※近代ホームグループでは下記の2種類の換気タイプです。
(仕様書でご確認ください)
a. ガダリウスの場合→ブレーカーを落とす。
b. ルフロの場合 →換気システムがある点検口を開け、換気システム本体脇のスイッチを切る。